



# 日政連ほっかいどう

平成 29 年（2017 年）2 月 13 日  
第 29 号（年刊）

編集・発行/全日本不動産政治連盟北海道本部  
〒064-0804  
札幌市中央区南 4 条西 6 丁目（全日ビル）  
電話：(011) 232-0550

## 政経セミナー「井上和彦講演会」報告

1 月 29 日開催 於：札幌プリンスホテル 国際館パミール

### 「日本を取り巻く安全保障環境」

講師 ジャーナリスト 井上和彦氏



全日本不動産政治連盟北海道本部は、1月29日（金）に札幌プリンスホテル 国際館パミール（札幌市中央区）を会場に、一般市民を含め会員など400名を超える聴衆が来場する中、講師にジャーナリストの井上和彦氏を招き「日本を取り巻く安全保障環境」と題した「政経セミナー」を開催しました。

冒頭、主催者を代表して山口政光幹事長が、悪天候の中、足を運んでいただいた多くの来場者に対する感謝の意を開会の辞として述べ、その後講演がスタートしました。

井上氏は「安全保障と経済は表裏一体で、北海道経済にも大きく関わっていくことが分かります」と述べ、逆さにした日本列島の周辺の地図をスクリーンに映し、わが国の地理的な位置づけや、極東、東南アジア諸国の国防費などの比較を行い、わが国が置かれている安全保障面の環境について解説されました。

その後、「集団的自衛権」の問題をはじめ、「駆けつけ警護」などについて、身近な例を挙げて分かりやすく説明されました。

また、「平和安全法制」に対する東南アジア諸国はじめ、各国の好意的な反応を紹介し、「安全保障とは国民の命と国土を守る常識的なもの」とその有効性と正当性を説き、その上で、「こうした問題を考えるためには国内理論だけではなく、国際常識に照らし合わせて考える必要がある」とされました。

さらに、トランプ大統領の誕生については「大統領が変わってどうなるか分からないが、わが国にもいろいろな形で影響が出るということを考える契機になった」としました。

一方、ロシアとの関係については、日露首脳会談に触れ、北方領土返還に進展はありませんでしたが、日露の安全保障協力の前進が見られたことを評価し、安倍政権への期待を述べられました。その中で新党大地代表で元衆議院議員の鈴木宗男氏のものまねを交えるなど、聴衆を飽きさせない井上氏ならではの解説に会場は盛り上がりを見せました。

後半は、ベトナムをはじめ、東南アジア諸国の独立に日本の旧軍人たちが深く関わっていたことなど、近代史ではあまり触れられていない事実なども紹介されました。

そして「イデオロギーで安全保障を考えると、安全保障が分からなくなる。安全保障が分からなくなると、外交と政治と経済が分からなくなる」とし、「常識的な範囲の中で冷静に考えていくことが大事で、この地域の平和と安定のために、バランス感覚を持った考えが必要で、そのために安全保障を考えていただきたい」と講演を締めくくられました。

講演終了後、北海道本部の亀井麻也幹事から井上氏に感謝の意を表して花束の贈呈が行われました。

最後に、細井正喜本部長が登壇し、「ご清聴ありがとうございました。テレビで拝見しているとおりのユニークな講演でした。来年も開催いたしますので、よろしくお願ひします」と閉会の辞を述べ、閉会しました。

## 井上和彦氏 プロフィール

1963年（昭和38年）滋賀県生まれ。専門は、軍事・安全保障・外交問題・近現代史。テレビ番組のコメントーター・キャスターを務めるほか書籍・オピニオン誌の執筆を行う。テレビ番組では歯に衣着せぬ爆裂本音トークで、難解な軍事問題などを分かりやすく解説する。「たかじんのそこまで言って委員会」（讀賣テレビ）では、“軍事漫談家”の異名を持ち、出演番組多数。また「日本文化チャンネル桜」の「防人の道 今日自衛隊」のキャスターのほか、航空自衛隊幹部学校講師、東北大学大学院非常勤講師、商社シンクタンク部門の主席アナリストも務める。平成25年より「国民の自衛官」（フジサンケイグループ主催、産経新聞社主管防衛省協力）の選考委員を務める。



熱弁をふるう井上和彦氏



細井正喜 本部長



山口政光 幹事長



亀井麻也 幹事から井上氏への花束贈呈